

もり 銀の森林通信

～大田市森林組合 広報誌～

平成28年8月

第71号

内容紹介

- ・組合長挨拶
- ・専務就任挨拶
- ・新役員紹介
- ・平成28年度通常総代会
- ・大田市林友会活動記
- ・組織改編と新入職員紹介
- ・つくってあそぼう木工館

水上町から見たら…



今年も懲りずにやります!
「表紙の山」シリーズ第6弾! なんという山かご存知ですか…?

応募方法 山の名前を記入してご応募ください。(応募者多数の場合) 抽選で記念品を差し上げます。

①山の名前 ②ご氏名 ③組合員番号(宛名の下にある6桁の番号)の3点を記載して、
ハガキ・ファクシミリ(0854-82-8013)・メール(mail@oda-fc.com)にて送付ください。
注)締切は9月30日です。なお、電話によるご応募は受け付けておりませんのでご注意ください。



利用間伐から主伐の時代へ

代表理事組合長 皆 田 修 司 (再任)

組合員の皆様には、平素より大田市森林組合の諸活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、衷心よりお礼を申し上げます。

5月30日に開催された通常総代会での役員改選及びその後の理事会において新役員体制が発足いたしました。変動する林業情勢に対応できる強い組織作りに取り組むため、今期から組合長、専務の常勤役員二人体制をとることとし、組合長には二期目となる不肖私が、新たな専務には前参事の林達夫氏が就任いたしました。

近年、森林の持つ公益的機能への理解が進み、また木材利用への見直しが進むなど、官民一体となつた林業界への追い風が吹き、徐々にではありますが、木材自給率等の数字も伸びてきております。しかし、国内森林資源の実情は、一年に約一億m³の成長量があるのに対し、利用されている国

産材の年間供給量はその四分の一にも満たない状況にあります。その結果、国内の森林は歴史上経験したことのない資源の飽和状態を迎えており、適期の木材資源利用を図るためにも、また、森林の持つ公益的機能の十分な發揮を図るためにも計画的な森林管理を進めることができます。このことは、現場を預かる森林組合運営にも大きな影響を与えるものであり、今まで進めてきた集約化施業、森林經營計画のさらなる推進とともに、利用間伐から主伐時代への転換、さらに低コストでの再造林など新たな取り組みの必要性が出てきており、そのための技術修得、組織整備などが必要となっております。

課題山積ではありますが、微力ながら、精いっぱい努めてまいりますので、変わらぬご支援、ご協力をお願ひいたします。



36年の経験を生かして

代表理事専務 林 達夫 (新任)

このたび、理事会において専務理事に選任され、常勤理事としてその職務に当たることとなりました。と同時にその責任の重さに身の引き締まる思いをいたしております。

これまででも、森林組合職員として36年間勤務し、その間、組合員並びに関係機関の皆様には大変お世話になりました。この紙面をかりまして厚くお礼申し上げます。

私は、昭和55年に大田市森林組合に事務職員として入組いたしましたが、当時は木材価格が最も高く森林の伐採も盛んに行われていた頃であり、そのため現場の仕事は6月から9月末まで下刈をし、10月から翌年の4月までは地拵、苗植えをほぼ毎日実施するといったものでした。営業的な仕事が主体であった私も毎日のように、見積書、補助金申請のための測量や立木売買のための

毎木調査を行っていました。その後徐々に木材価格が下落し、それに連動するかのように新植・下刈が減り、代わりに枝打、間伐などの保育事業が増えていき、ここ数年は国の施策もあって、林内に作業道を入れ、それを活用した搬出間伐事業がメイン되었습니다。

このように林業界も大きく変遷してきましたが、今後、森林組合が早急に取り組まなければならないことは、6月に政府が閣議決定した「林業の成長産業化」の具体的施策である二つの柱のうちの「原木の安定供給体制の構築」であります。そのためには、施業地の団地化による低コストな木材生産及び将来の目標林型を踏まえた跡地造林・保育の実行が不可欠であり、併せてこれらを担う人材の育成も行う必要があります。

課題はたくさんありますが、それらを着実にクリアしていく所存であります。

新役員体制発足!!

通常総代会において、任期満了による役員の改選を行い、新任5名を含む理事11名、監事3名が承認されました。

地域を代表される役員、監事の皆様をご紹介致します。



新役員のみなさん

紹介内容 ①氏名 ②年齢(5/30時点) ③住所(選出ブロック) ④略歴

組代表 合 理 長 事		①皆田 修司（再任） ②67歳 ③大田町大田（中央） ④元市役所職員	専 務 代 表 理 事		①林 達夫（新任） ②59歳 ③長久町長久（三瓶） ④元森林組合職員
理 事		①石田 晴久（再任） ②69歳 ③鳥井町鳥井（北） ④元団体職員	理 事		①中田 正敏（再任） ②69歳 ③大森町（高山） ④自営業
理 事		①和田 義弘（再任） ②69歳 ③久手町刺鹿（東） ④元会社員	理 事		①中間 功（再任） ②67歳 ③三瓶町池田（三瓶） ④元団体役員
理 事		①戸島 長四郎（再任） ②67歳 ③温泉津町湯里（温泉津） ④元団体職員	理 事		①繩江 義周（再任） ②69歳 ③大屋町鬼村（中央） ④元団体役員
理 事		①竹下 紀雄（再任） ②68歳 ③富山町山中（東） ④農業	理 事		①森 徳行（新任） ②67歳 ③温泉津町井田（温泉津） ④農畜産業
理 事		①田中 淳司（新任） ②61歳 ③仁摩町馬路（仁摩） ④元公務員	代 表 監 事		①安原 良久（新任） ②59歳 ③水上町荻村（中央・高山） ④元団体職員
監 事		①三谷 和弘（再任） ②47歳 ③三瓶町志学（北・東・三瓶） ④自営業	監 事		①山根 博佳（新任） ②67歳 ③仁摩町仁万（温泉津・仁摩） ④自営業

平成28年度 通常総代会開催

～提出議案承認決定される～

5月30日サンレディー大田において、
平成28年度大田市森林組合通常総代会を開催致しました。



竹腰大田市長



手錢県森連会長

総代会では、はじめに皆田組合長の挨拶、永年勤続職員表彰の後、ご来賓を代表して、島根県森林組合連合会手錢白三郎会長、竹腰創一大田市長ほか2名の方より祝辞を頂きました。

役員改選行われる

本年は総代222名（内訳：本人出席158名、書面議決64名）の出席を得て、議長に大屋町の安藤彰浩氏を選任し議事に入りました。

平成27年度事業報告および平成28年度事業計画など提出した議案については、いずれも原案どおり可決承認されました。なお議

案審議では組織強化のための意見や、地域の実情に応じた対応を求める質疑がありました。

また3年に1度の役員改選が行われ、新役員体制が承認されました。

総代会終了後に行われた新体制での理事会では、組合長の再任と新たに代表理事専務を置くことが決定されました。



永年勤続表彰者 ～おめでとうございます～

総代会で行われた「永年勤続職員表彰」の受賞者はこちらの2名。

席上、表彰状・記念品が贈られ、永年にわたる労をねぎらいました。

おめでとうございました！

久手町 田原 忠さん
(勤続25年)川本町 伊藤一昌さん
(勤続10年)

田市森林組合総代会会場

市森林組合総代会会場

平成27年度事業報告 事業活動の概況(抜粋)

平成27年度は前年度に引き続き、森林経営計画の作成及び集約化促進のための普及啓発活動を実施。循環型林業の構築や木材利用推進を図るために、路網の整備を重点目標とし、併せて人材の確保・育成についても積極的に取り組みました。さらに架線集材のできる人材育成を大田市の協力を得て実施しました。人材確保の面においては求人倍率が高く、

売り手市場となったこともあり新卒採用がありませんでした。

事業量については、路網開設距離、新植、利用間伐関連事業の実施面積及び木材生産量のいずれも当初の計画を上回る一方、雑工事、利用料については計画を下回り、事業利益で赤字を計上するという厳しい結果となりました。

**平成27年度 事業総損益 69,338千円(計画比 ▲16,014千円)
事業利益 ▲3,529千円(計画比 ▲4,667千円)**

I. 貸借対照表

資産の部	金額	負債・純資産の部	金額
現金・預金	220,767,856	貯掛金	5,287,262
受取手形	0	未払金	28,014,695
売掛金	2,832,484	未払法人税等	1,469,865
棚卸資産	2,976,825	賞与引当金	5,746,844
前払費用	2,064,684	前受金	0
未収金	78,674,173	預り金	12,246,157
立替金	3,323,561	受託販売預り金	16,668,731
仮払金	0	未払消費税	282,500
長期預け金	97	流動負債計	69,716,054
流動資産計	310,639,680	長期借入金	2,685,000
減価償却資産	20,406,333	退職給付引当金	24,865,035
土地	34,440,035	農林漁業資金借入金	1,803,454
森林	17,460,927	固定負債計	29,353,489
電話加入権	80,300	負債合計	99,069,543
系統出資金	15,880,000	出資金	109,686,300
系統外出資金	1,749,000	法定準備金	55,067,732
農林漁業資金貸付金	1,791,335	任意積立金	123,853,452
リサイクル預託金	90,540	当期末処分剰余金	10,221,617
固定資産計	91,898,470	資本準備金	4,639,506
合計	402,538,150	純資産合計	303,468,607
		合計	402,538,150

(部門別損益計算書)

部門	収益	費用	損益
指導	4,806	679,867	-675,061
販売	11,550,552	5,408,693	6,141,859
森林整備	404,513,243	340,642,325	63,870,918
森林整備	261,735,845	238,635,018	23,100,827
利用	131,909,367	92,524,088	39,385,279
林地供給	156,963	0	156,963
福利厚生	0	0	0
購買(事業物資)	10,540,621	9,324,129	1,216,492
購買(生活物資)	74,725	70,125	4,600
金融	95,722	88,965	6,757
合計	416,068,601	346,730,885	69,338,716

II. 損益計算書

科 目	金額
事業収益	416,068,601
事業費用	346,730,885
事業総利益	69,337,716
事業管理費	72,866,426
事業利益	-3,528,710
事業外収益	4,437,948
事業外費用	487,405
事業外損益	3,950,543
経常利益	421,833
特別利益	2,120,835
特別損失	565,146
特別損益	1,555,689
税引前当期純利益	1,977,522
法人税、住民税及び事業税額	328,500
当期剰余金	1,649,022
前期繰越剰余金	8,572,595
当期末処分剰余金	10,221,617

III. 平成27年度剰余金処分について

1. 当期末処分剰余金	(単位:円)
前期繰越剰余金	8,572,595
当期剰余金	1,649,022
合計	10,221,617
2. 剰余金処分額	
法定準備金	2,500,000
任意積立金(損失補填積立金)	3,000,000
合計	5,500,000
3. 次期繰越剰余金	
	4,721,617

※次期繰越剰余金のうち教育情報資金は、500,000円である。

平成28年度事業計画 運営の基本方針(抜粋)

我が国の森林は、戦中戦後にかけての急激な伐採を経て、現在では1,000万ヘクタールの人工林が造成され、その半数以上が伐期と言われる46年生以上となり、利用期を迎えたといわれています。しかしながら長引く木材価格の低迷から森林所有者の木材生産への意欲が減退し手入れ不足の森林が増え良質な木材の产出が今後減るだろうと予測されるところです。平成28年度も昨年度に引き続き継続的に路網整備を行い、伐採から植林にいたる一環型施業技術の確立に努め低コスト生産を目指します。

組織・経営体制については、大きく変動していく社会・林業情勢に対応できる強い組織づくりを目指します。そのため、日常的な組織運営の検証と適宜に役職員研修等を実施し、協同組合としての基本的使命と社会的責任に対する意識の更なる深化を図ります。

また、近年件数が増えている労働災害対策については、再発防止につながる災害原因の徹底究明、安全第一意識及び基本動作の徹底などにより、年間ゼロ災害達成を目指します。

大田市林友会活動記

「林友会」とは… 森林所有者の皆さんのが林業について自主的に研究されるグループです。

市内のケヤキ大径木の調査

～大きくなあれ、ケヤキの木～

かつて、市内の18箇所に25本のケヤキの大径木があることを調査し記録にとどめていました。昨年は十数年ぶりの調査を11月16日に希望者8人で実施しました。

ケヤキは材質が堅く杅目は美しく多くは神社仏閣の建築材料として、また、民家では大黒柱などに使用される貴重な用材です。しかし大径木になるには100年以上を経なければなりませんし、どこにでも簡単にあるという樹木ではありません。いずれの大径木も前回以上に太っていて頗もしく思いました。

今回の調査地は三瓶町多根、川合町、久利町、大屋町、長久町の5箇所。いずれも胸高直径1m以上、樹高は20~30m。見上げるばかりの立派な巨木で他の樹木を圧していました。将来どこで役に立つ用材として使用されるか楽しみでした。



ケヤキ大径木調査

最後の一本となった鎧松

～残そう増やそう貴重な松～

「鎧松」は樹皮鱗片の下側が反って樹幹を一周する特徴を有し、材に挽くと特異な杅目を表すアカマツやクロマツです。全国でも大田地方にしか発見されていない貴重な松です。これまで市内で3本発見されていましたが、数年前大田町野城で1本、今年富山町で1本枯れて、ついに最後の久利町の1本だけが残ったことになります。これまで薬剤を注入して松枯れ予防に努めてきましたが、残念です。接ぎ木で育った鎧松（大森町、三瓶町）にも薬剤を注入して保存活動をしてい



久利町大田1号 薬剤注入

ます。なんとか枯れずに鎧松の特徴を現す大木に成長してほしいものです。鎧松の遺伝子を残そうと毎年接ぎ木に挑戦しています。しかし、なかなか技術が確立できず苗を増やすことが困難な状態です。今後も研究を重ね技術向上を図っていきたいと思います。

毎年喜ばれる林友会の出店

～工夫しつつ楽しむ出店に～

例年の出店場所は、①さんべ祭に合わせた木工館近くの広場での出店。そこでは森林組合の職員と一緒に林業機械や丸太切り体験、木のおもちゃ遊び、丸太いすの販売など。②福祉施設亀の子での「亀の子祭り」。③道の駅ロード銀山会場での「木の駅プロジェクト エネルギーパーク2016」。④福祉施設七色館での「七色館祭り」。いずれも楽しく出店することができました。過去数年毎年の出店で林友会の存在と活躍が徐々に理解されていることを嬉しく思い、また、楽しんでもらっていることを実感しました。



木の駅プロジェクトエネルギーパーク2016での出店

大田市林友会会員の募集について

～自然に親しみ、一緒に楽しみませんか～

現在会員は約30名です。一番多いときには50名を超えていたこともありましたが、最近持ち山に入って作業をしてみたいとか、自然の中で楽しむ活動をしてみたいという人が増えてきたこともあってか入会される人が増えてきました。持ち山の整備、退職後の生活設計、地球温暖化に貢献、趣味グループの活動等につなげていけたらと夢は広がります。

関心のある方はどうぞ、森林組合内の林友会担当にお電話ください。お待ちしています。

大田市林友会会長 和田秀夫

森林経営課・森林整備課、新設!!

2016年7月1日、組織改編が行われ業務課を廃止。新たに森林経営課と森林整備課が新設されました。

森林経営課は主に業務課の仕事を引き継ぎ、山林所有者さんの森林を管理し經營していきます。

森林整備課は主に現場作業に従事します。これまでの推進係よりも更なる組織の強化と、業務への柔軟な対応を目指していきます。



森林経営課課長
藤本信也



森林整備課課長
熊谷裕治

新職員紹介



森林整備課（1年目）
伊藤正裕



森林整備課（1年目）
竹下明宏



森林整備課（1年目）
板垣龍典

入組してまだ2ヶ月余りですが、フォレストワーカーとして、林業における技術や知識を基礎から学べる事をとてもありがたい事だと感じております。基本を守り、ケガのないよう日々努力をして一人前の現業職員になりたいと思います。

入組して4ヶ月。まだまだ周りが見えず、先輩のアドバイスも上手く実行できない有様ですが、第三者の厳しい目を意識しつつ仕事に取り組んでいこうと思います。

6月よりお世話になっております。良い森を作るため、苗を植えて、手をかけて守り育てていく。とても素敵な仕事だと思います。

知識と経験を積み、1日も早く先輩方と肩を並べて仕事ができるよう頑張りたく思います。よろしくお願いします。

森呼吸 ~特別編~



矢田勇介

今年の4月から森林経営課に採用になりました矢田勇介です。大田市森林組合に入組し、4ヶ月ほどが経ちました。

現在は職場の雰囲気にも慣れ、入組式では緊張で生きた心地がしなかったあの頃を懐かしく思いつつ、自分の担当も決まり、これからだ!!と意気込んでいる所です。

組合に入るまでは大学生活を送っていましたが、だらだらした毎日を過ごし、自分は将来何がしたい

のだろうとずっと考えていました。そんな時に大学の先生の助言もあり、地元大田に帰り、地域のために働くと思うようになりました。そこで知ったのが「大田市森林組合」でした。

実際に働いてみると想像以上に頭も体力も使い、現場に出ると山仕事という自然を相手にすることの厳しさを痛感しました。

しかしそれと同時に森林組合での仕事は、とてもやりがいがあり、地域のためになくてはならない仕事だと感じています。日々勉強をモットーに、自分に与えられた役割を一所懸命に頑張っていきます。そしてまだまだ未熟者ですので、至らない点も多々あると思いますが、優しくそして厳しく皆様のご指導のほどよろしくお願いします。

三瓶木工館で

木にふれて
つくってあそぼ！

さんべ木工館の カンタン工作！



子どもから大人まで楽しめる木工体験！
木を好きな形に切ったり穴をあけたりして
キーホルダー、写真立て、小物入れなど
オリジナル作品が作れます！



家族や友だち、子ども会や学級活動など
団体でも利用できます！
※団体でご利用の場合は事前にお申し込みください。

各種教室・イベントも開催しています！

◆はじめての木工！

作品*写真立て*

◆はじめての木工ろくろ！

作品*コースター*

◆トールペイント教室

年4回開催

木の使い方から
道具の使い方まで
初心者の方でも
安心な教室です！

◆さんべ祭 10月15日・16日

◆チェンソー講習・椎茸の原木作り
11月12日・2月25日

◆島根県技能祭(松江) 11月6日

◆ミニかどまつ作り 12月18日

◆みつばちの巣箱作り 3月12日

◆椎茸のなる木を作ろう 3月19日

D I Y
楽しもう！

友の会会員募集

木炭をつくってみませんか！

木炭にする木を割り、窯につめ
火をいれ、窯を開き取り出すまで
を体験します！

【日程】6月・12月・3月
年3回予定

炭の販売もしております

2. 5kg	540円
5kg	950円
10kg	1,728円

三瓶でのんびり バーベキュー

こもれびの中にある屋根付きの
バーベキューハウス。
1炉を6名様でご利用いただけます。

◆全4棟（1棟に2炉付き）
◆使用料 1炉3,240円
※炭・鉄板・火バサミ・着火剤は 料金に含まれます。
◆営業期間 3月～11月
◆利用時間 11:00～16:00

三瓶こもれびの広場 木工館

〒694-0002 島根県大田市山口町山口 1638-1
TEL (0854) 86-0182

★木工体験は予約無しで利用できます★

【開館時間】9:30～17:00 (体験受付 15:00まで)
【休館日】毎週火曜日 【入館料】無料
<http://www.ginzan-tv.ne.jp/~mokkowan/>

その他のイベント情報や
教室の詳細については
木工館ホームページまたは
ブログをご覧下さい♪